

日本人6人が〈人類史上初〉の挑戦

南極トライアスロン & マラソン

人類史上
初



ANTARCTIC ICE TRIATHLON

地球上で最も寒く、最も乾いた、最も風の強い純白の大地でのチャレンジ！

スポーツか、冒険か？ マイナス20℃の真夏の世界で、ラン、バイク、そして・・・

真冬はマイナス90℃近くにもなり、ときには時速300km以上の突風が吹く南極。2013年11月中旬、南極の夏に人類史上初めてトライアスロンが行われる。レースは、南極点から1000km離れたユニオングレッシャーで開催。陽が暮れない白夜の夏とはいえ、平均気温はマイナス20℃。ラン、バイク、そしてスイムの代わりにクロスカントリースキーの3種目で競われる。

サハラ砂漠250kmを完走した彼らの次のチャレンジ

南極トライアスロンに挑戦するのは〈チームきわみ〉のメンバー、石田淳、浜口隆則、渡辺未来雄、小針一浩、須田将啓、成田信一の6名。彼らは全員が経営者。仕事の合間をぬって出場した世界一過酷なマラソン大会と呼ばれるサハラ砂漠マラソン（モロッコ）を全員完走。行動科学マネジメント研究所 所長の

石田淳は「子どもの頃からの憧れの地でのチャレンジが楽しみ」と話し「最果ての地で、極限の世界に挑戦したい」と株式会社エニグモ 代表取締役須田将啓は言う。メンバーに共通する価値観は「想像すらできないことへの挑戦」。経営者として、常に初めてのことに向き合う彼らの新たなチャレンジがいよいよ始まる。

主催者リチャード・ドノバンは2006年より〈南極アイスマラソン〉を開催し、今年、第9回を迎える。人類史上初となる今大会は、南極アイスマラソンと同時開催され、アルジャジーラTVが特番を製作する他、世界中に配信される予定。前例のないマイナス20度の熱い男達の挑戦に、世界の注目が集まる。

チームきわみ



Facebookページ「チームきわみ」で検索

このような企画があればお声掛けください！

- ・ドキュメンタリー
- ・アドベンチャー
- ・スポーツ
- ・経営者のライフスタイル、チャレンジ

取材問い合わせ先

株式会社ウィルPMインターナショナル
東京本部事務局内 南極トライアスロン係 松下真一
Tel 03-6890-0483 Fax 03-6856-4416
Email: support@will-pm.jp